

東雲 (しののめ)

vol. 5 5 (29)

6)

「こんにちは。 今日も暑いね。」という、あいさつが当たり前になった残暑がまだまだ厳しい9月が終わって、ようやく？短い？秋を迎えられそうな10月になりました。 暑い日は続きくようですが、中高生の夜の通常授業が始まる7時ころには、もうすっかり暗くなって季節が一つ先に進もうとしているのは強く感じます。



「秋の日は釣瓶 (つるべ) 落とし」って聞いたことありますか。 「釣瓶」とは、最近は見かけなくなりましたが (私も実生活の中では使ったことはありません☒)、井戸から水をくむために縄などにつけた桶のことです。 秋は日の暮れるのがどんどん早くなっていくことを、井戸の釣瓶が落ちる速さにたとえて表現しているのですね。



夏はあんなに遅くまで明るかったのに (夜の通常授業の始まる頃は、まだ明るかったです)、最近夕方6時前にはずいぶん暗くなってしまいます。 自動車など

を運転している人たちは「気をつけないと」、そして歩行者や自転車に乗っている人たちにも「気をつけてもらわないと」、痛ましい事故が起きてしまうかもしれません。塾の行き帰りが自転車や歩きの人には特に注意してください。意外と自分たちの姿が車の運転手には気付いてもらえていないかもです。

「〇〇の秋」と、よく言われますが、〇〇には何をイメージしますか。食欲の秋とかスポーツの秋、芸術の秋など、色々な言葉が思い出されますが、今年は「読書の秋」を楽しんでください。私はもともと他人よりは本を読む方だと思いますが、8月の入院中に以前、塾で先生をしてきていた舞依子さんが3冊の本を持ってお見舞いに来てくれたのをきっかけに、それ以降、本を読む機会が増えました。実際、電車の中で乗客が一律、スマホとにらめっこしているのは不気味な感じがします。その不気味さを感じてから、私は電車の中では極力、スマホを出さずに本を読むようにしています。私を見習って・・・など言うつもりは全くありませんが、最近読んだ本について人と話をしていて、「その本、自分も読んでみよう！」と、実際に手に取って読んでみたりして面白かったりすると人生、得した感じがします。



本嫌い、読むのが面倒くさいという人がいるかもしれませんが、ロシアの小説家チエーホフは次のような言葉を残しています。

「書物の新しいページを1ページ、1ページ読むごとに、私はより豊かに、より強く、より高くなっていく」

1冊の本との出会いが、人を成長させ、人生を変えるきっかけになる場合があります。



私の場合は、1冊・・・と言うと難しいですが、「名犬ラッシー」と「十五少年漂流記」で読書の楽しさを知り、小学校の頃に江戸川乱歩の「怪人二十面相シリーズ」でミステリーの面白さを知り、高校生になって太宰治の「人間失格」の最後の一行に彼の偉大さを知って、三島由紀夫の本を読みあさって、今に至る...という

感じでしょうか。夏休みの読書感想文だけとは言わないで、図書館や本屋さんなどで、自分が興味のある本を見つけてみましょう。チェーホフの言葉を見ると、為(ため)になる本を読まないという意味がないように思えるかもしれませんが、面白そうな本なら何でもいいです。単に動画を見て楽しむよりも、文字の世界にハマることで、自分自身の想像力がぐっと成長していきますよ。もちろん、文章の読解力が伸びることは言うまでもありません。秋の夜長を読書で費やす・・・お洒落な感じがしませんか？是非、どうぞです。

P.S. 私の場合は、徹夜になってしまう可能性があるので自宅には本は持って帰らないように

にしています・・・

「〇〇の秋」によせて、私事ではありますが先月のお手紙から続く「芸術の秋」の話題を少し・・・私のお袋が開いている刺繍教室が10月の間、刺繍展を開くことになりました。みなさん、お忙しい中とは思いますが、お時間ある時にでも是非一度足を運んでみていただければと、思います。右に簡単ではありますが、概要を挙げておきました。



右に簡単ではありますが、概要を挙

こうして暑さが一段落すると、いよいよ受験生は緊張が高まってきます。今月は、各学校が中間テストを順次行っていくのも対して、テスト対策セミナーも行っていきます。受験生の方は、自分のテストが無い時でも受験対策としてセミナーに参加してもらっても構いません。普段はなかなかできない、1・2年生の復習などをす

内海洋子刺繍教室展	
10月3日(火)～10月31日(火)	
場所	遊倶楽部
	あま市森山弁財天57

る良い機会だと考えて参加してみませんか？ 考えてみると、やらなければいけない事は各自、たくさんあるはずですよ。

